

一般質問での発言めぐり「政治倫理基準等違反審査」請求

谷永兼二（凜風会）、木村眞雄（公明党）、出口雅之（凜風会）の3議員から提出された糸目議員の発言に対する審査請求内容。

審査請求の事案の内容

（1）令和8年第2回甲賀市議会定例会の一般質問通告書及び、令和8年2月27日の令和8年第2回甲賀市議会定例会一般質問において、他人の私生活において不確定な事案を断定した内容を記載し、その旨の発言を行った。

（2）令和8年2月27日の令和8年第2回甲賀市議会定例会一般質問において、間接的な要素を複数挙げて、個人を特定し得るような状況を作り、個人攻撃とも捉えられるような発言を行った。

政治倫理審査会は、各会派からの代表4名と無会派から1名の5名の議員により構成されています。日本共産党議員団からは山岡光広議員が、凜風会からは西村慧議員、瑞誠の会からは小倉剛議員、公明党からは堀郁子議員、無会派からは福井進議員が審査委員として出席。第1回の審査会で、委員長に山岡光広議員、副委員長に堀郁子議員が選出され

「政治倫理」とは何か

問われる議会一般質問での発言

甲賀市議会議員政治倫理条例の規定に基づき、谷永兼二議員らが、糸目仁樹議員が三月議会で行った発言に対して6月12日付で、「政治倫理基準等違反審査請求書」が提出されたことに伴い、6月25日に甲賀市議会政治倫理審査会が設置されました。甲賀市議会では、二例目。7月10日に開催された第1回審査会では、審査会正副委員長の互選、審査請求事案の確認、今後の開催日程等を決定しました。7月13日の第2回審査会では、審査請求人の谷永兼二議員・木村眞雄議員・出口雅之議員から請求に至る経緯などの説明がありました。24日には、審査対象議員に対する審査があります。審査会は、原則公開です。

ました。

第2回審査会では、審査請求人代表の谷永兼二議員が「議会における議員の発言自由は原則的に保障されているものの、他人の私生活への言及や人権には十分配慮する必要がある。しかし、今回の糸目議員の一般質問は不確定な事案であるにもかかわらず一般市民が特定されるような状況を作った。審査会では、今回のような発言が許されるのか、適切であったのかの判断を願いたい」と、審査請求内容の説明を行いました。これを受けて、山岡委員長から、①2月一般質問から3か月後の6月に審査請求が出されたのはなぜか、②糸目議員の質問は一般質問にはそぐわない内容だと感じるがどうか、と質疑がされました。これに対し、請求人から、「問題発言だ」という認識は、当初からあり、その解決の方法を模索し、議会全員協議会の場で議員に意見を聞くなどしたが、解決は困難だと思い請求に至った。一般質問にはそぐわない内容だ」と回答。その後、各委員から「政治倫理条例等にある議員の品位とは何か」など質疑がされました。今回の事案は議員の品位、政治倫理が問われる問題です。

第3回の審査会では、対象議員の糸目議員の弁明・質疑が行われます。



土山町南土山地先での産廃処分場建設計画について、事業者による説明会が7月17日、かふか生涯学習館で開催されました。旧甲賀町での開催は初めて。参加者からは野洲川の水質汚染や県外からのごみが9割を占めること、地形に関する問題など予定時間を超えて、質問や反対意見が続出しました。

旧甲賀地域で初の産廃説明会

「建設反対」の意見続出

貴生川駅南口交流拠点整備事業について市民と意見交換会



甲賀市議会の公民連携調査特別委員会と産業建設常任委員会の主催により、「公民連携による貴生川駅南口交流拠点整備事業についての意見交換会」が7月20日、まる一むで開催されました。公民連携調査特別委員会の橋本恒典委員長が事業の概要を説明、その後グループ毎に意見交流を行いました。「開発よりも道路整備、コミセン改築をしてほしい」「なぜ図書館がメインなのか」など多くの意見が出されました。出された意見は今後の各委員会に活かしていく必要があります。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 7月 26日 第592号



山岡 光広

甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美

土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実

水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044